



私の居場所が地域にたくさんあります  
それが私の何よりの宝

新民生委員・児童委員長  
**佐藤 智子** (本倉)

平成16年に民生委員児童委員に委嘱  
令和元年12月に民生委員児童委員長に就任

現在、民生委員児童委員の仕事内容をあまり理解されず、なり手が少ない状況です。その中で、私が続ける理由は、“待っている方”がいるからです。お訪ねした方々と悩みや喜びを共有し合うこのほのぼのとした思いは、何にも増した幸せ感に繋がります。そんな時が民生委員で良かった！としみじみ感じます。

赤ちゃんからお年寄りに至るまで安心と安全をお届けするのが私たちの役目ではないでしょうか。「幸せはみんなの願い」です。この町に住んで良かったと思えるようなまちづくりに少しでも貢献できたらと思います。



地域とのつながりを  
大切にしてきた17年間でした。

前民生委員・児童委員長  
**川口 勝行** (上野)

平成14年に民生委員児童委員に委嘱  
// 22年に民生委員児童委員副会長に就任  
// 25年に民生委員児童委員長に就任

委員活動は17年間という期間でしたが、熊本地震時の民生委員活動が一番印象に残っています。マニュアル通りにいかない地震対応でしたが、少しでも被災者の方たちに寄り添い、前に進めるお手伝いができたのかなと思います。

地域の中で、高齢者の方たちと話すことが大事になります。何が困っているか分からないといけません。地域とのつながり、信頼関係を築くためにも、委員活動1期にとどまらず、継続できるのであれば、長く続けてほしいと思います。

これからの御船町は、一人暮らしでも安心して住めるまち、“福祉のまちづくり”を目指してもらいたいです。



Topix III 御船町の見守り隊

民生委員・児童委員が  
新体制でスタート

民生委員・児童委員の交代について

令和元年12月1日、3年に一度の一斉改選が行われ、再任委員23名、新任委員24名計47名に委嘱状が交付され、新体制での活動がスタートしました。各地域の委員を知りたい方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

☎ 福祉課 社会福祉係  
☎ 282-1342

Topix II 御船町に移住定住

ちょうどいい  
田舎暮らし  
始めませんか？



移住コーディネーター  
**秋吉 朱夏**

御船町はこの10年、急速な人口減少の一途をたどっている一方で、コストコの建設、町内に3つのインターチェンジ、熊本市内まで車で30分の立地にある等、今大注目のベッドタウンでもあります。  
今回はそんな御船町に移住した先輩たちの声をご紹介します。御船での暮らしやお仕事、子育てについて語っていただきました。

自然を活かして地域おこし

水越地区での地域おこし協力隊の現在の活動は「水越の地域づくりマイスター」というテーマのもと、①水越地域の素材を活かした地域おこし②水越地域活性化協議会の事務サポート③地域イベントのコーディネート④その他、地域おこしに必要な活動の4つのミッションに沿って活動しています。

以前は、音楽イベントの会場装飾、野外イベントでのアート活動やケータリング、また、海外を含めいろんなところへ旅もしていました。御船の雰囲気の良い、これまでの経験を活かして地域をサポートしていきたいと思い、地域おこしに応募しました。これからの活動のテーマは、「自然と子どもとアート」ですね。自然の中にと、たくさんの気づきや知恵があるので、子ども達に自然活動を広めていきたいです。



No.1  
**神戸 茜さん** 東京都出身/水越在住  
夫、子ども2人の4人暮らし。  
現在、地域おこし協力隊で活躍。

御船は子育てにはぴったりの場所

山が多く、虫やそこらへんに生えている草を図鑑で調べたり、自然に囲まれているので、のびのびと遊ぶことができます。熊本ならではの伝統的なイベントも多く、世代が違う方々の言葉や仕草に触れ合うことができるので子どもの成長過程にはとても刺激になります。

また、同じ世代のママ達も多く、ママサークルを通じてたまに集まったりもしています。茶話会や公園遊び、季節によってはクリスマス会などを行っています。近所の方とも仲が良いので、子どもを預かってもらったり、気軽に出来る関係はありがたいですね。



No.2  
**増永 千佳子さん** 佐賀県出身  
本倉在住  
夫、子ども3人の5人暮らし。  
10年前に佐賀県から移住。

移住の決め手は、“環境の良さ”

御船町は、周りを見たら自然があって、交通量も少ないので、子どもを育てる環境としてはまさに“ちょうどいい塩梅”だと思います。

徒歩1km圏内に、官公庁や病院も揃っているので、年を取ってからも暮らしやすく、将来車に乗らなくなった時、歩いてでも生活ができる、そんな御船町が自分たちには合っていたんでしょうね。公園もあって、博物館もあって、近くにお店がたくさんあるので、実際に暮らしていて不便なことは何もないです。



No.3  
**久保田 享治さん**  
大分県出身/辺田見在住  
妻、子ども2人の4人暮らし。  
3年前に熊本  
市南区より移住。